

改訂版 随意運動発達検査

監修 田中美郷

(発達科学研究教育センター)

<p>テストの標的</p>	<p>検査者がいくつかの運動パターンを提示し、幼児に模倣させる検査です。運動パターンを幼児に模倣（まね）させることにより、随意運動の発達特徴を診断することができます。課題毎に幼児の反応を達成基準に照らし合わせ、達成されたか否かを判定します。</p>
<p>対象年齢</p>	<p>2歳0ヶ月～6歳11ヶ月</p>
<p>実施時間</p>	<p>20分～30分</p>
<p>用紙・用具</p>	<p>総合セット（手引・検査用紙・解説書ビデオ（DVD）） 30,000円 手引 1部 2,000円 検査用紙 10部 1,500円</p>
<p>検査内容</p>	<p>解説用VTRがあり、提示方法と判定方法が示されます。手指、顔面、口腔、躯幹、上下肢について意図的に身体部位を操作する運動機能の発達状態を調べます。課題毎に健常児の90%が通過する基準年齢が示されていますので、健常児からの逸脱傾向が把握できます。</p>